

買い物楽しみ 足腰リハビリ

肘で体支えるカート導入

勝山で実験開始

高齢者に買い物をしながら足腰のリハビリにも取り組んでもらおうというユニークな「実験」が勝山市で15日、始まった。足腰の負担を軽減できる特殊な買い物カートに勝山サンプラザに5日間導入。買い物客や市内福祉事業者がリハビリの効果や認知症予防の有効性を探る。

(宮本幸直)



特殊なカートを経験する買い物客＝15日、勝山市の勝山サンプラザ

同市内の医療機関、福祉事業所などで構成する任意団体「ケア・ブレイクかっちゃま」が実験を実施。カート2台を勝山サンプラザに置いた。カートは人間工学に基づき設計され、肘で体を支える形で歩行できる。

「買い物リハビリ」は広いショッピングセンター（SC）で自然と歩行距離が伸び、商品の選択や所持金管理、店員とのコミュニケーションを通して認知機能が向上する効果も期待されるという。

SC側にもこれまで買い物に来ることができなかった高齢者を新たに顧客にできるメリットがあり、全国では石川、鳥取、大阪など12カ所で行われ

ている。勝山市で本格的に導入されれば県内で初めてとなる。

この日は、お年寄りたちが代わる代わるカートを使ってSC内を歩き、実際に買い物をした。市内の女性（70）は「腰が悪

いから肘を乗せて歩ける

また、介護職員や医療

学校田にコイを放流する児童＝15日、坂井市三国町楽円



コイ使い

坂井・三

坂井市三国南小の5年生が15日、無農薬の米作りを行っている同市三国町楽円の学校田に、雑草対策としてコイの稚魚約700匹を放流した。

同校は、三国木部まちづくり協議会環境部会とJA花咲くく青壮年部三国支部の協力を得て毎年、5年生を中心に稲作体験授業を行っている。コイは水田の害虫や雑草を食べ、泳ぎ回る